

教 科	国 語	学 年	3 年
-----	-----	-----	-----

【教科の目標】

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【使用教材・副教材】

- ・国語 3 (光村図書)・よく分かる国語の学習 3 (明治図書出版)
- ・積み上げ式学習の達成・模擬トレ5 (進研)
- ・10時間程度の書写活動(硬筆を含む)を行う。

【評価の観点と方法】

	評価規準	評価方法
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	◇定期考査 ◇漢字テスト ◇宿題・ノート等の提出物 ◇書写作品等の提出物 ◇調べ学習等の課題 ◇文法テスト
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	◇定期考査 ◇スピーチ ◇聞き取りテスト・ディベート ◇授業態度(発言を含む) ◇提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考え深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	◇授業へ積極的に取り組む態度(発言内容や話し合い活動、発言等) ◇授業のふり返し ◇調べ学習等の課題 ◇宿題・ノート等の提出物

【授業の進め方と学習のポイント】

- 毎回の授業で行う漢字練習に積極的に取り組むこと。
- 授業の基本として、先生の話をよく聞き、自分の考えを持つこと。
- 発言や発表に進んで参加すること。
- 提出物は期限を守って提出すること。
- 定期考査の前には、教科書を繰り返し読むことを基本として、自分のノートを照らし合わせ、授業の流れを確認する学習を行う。ワーク等、問題集を繰り返し学習する。

【家庭学習の進め方】

- ①とにかく一番大切なことは、学校の授業です。特に、心情把握は、根拠に基づいたものになるので、授業中での解説などの話をまとめてメモするなどの工夫を授業で行っておくことが大切です。
- ②予習は、教科書を読んでくることが大切です。2回ぐらい読めるとよいです。復習は授業内容の確認です。ノートを見ながら、どのようにして読解が進められたかを確認しましょう。
- ③課題図書は、極力読みましょう。また、朝日新聞の天声人語や毎日新聞のコラムに目を通すこともお勧めです。国語が苦手な人はまずはコラムを読むことからはじめ、それが定着したら、自分の考えをまとめ、短作文を書く練習をすると力が付きます。

【年間指導計画（国語 105時間）】

月	時間	単元名	学習のねらい
4 5 6 7 8	計40	「世界はうつくしいと」 「握手」 「意見を聞き、適切さを判断する」 文法1 説得力のある構成を考えよう 敬語 「学んで時にこれを習ふ」 「作られた『物語』を超えて」 論理の展開を意識して書こう。 漢字に親しもう 俳句の可能性 言葉の釣り糸を垂らす 語彙を豊かに 羊と鋼の森	詩のリズムや技法から作者の意図を読みとり、自己の考えに活かす。 場面や登場人物の生き方から自分の考えを深める。 情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うことができる。 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応などについて理解することができる。 自分の立場を明確にして相手を説得できるように論理の展開などを考えて話の構成を工夫することができる。 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 古典的な文章から、自己の考えと比較して考える。 論理の展開に着目して、主張を捉える。 文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読む。 具体と抽象など情報と情報の繋がりを理解して深めることができる。 常用漢字表に示された漢字の大体を読むことができる。 表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫することができる。 文章を批判的に読み、ものの見方や考え方について考えることができる。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解できる。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。
9 10 11 12	計45	「挨拶」 「故郷」 論理の展開を整える 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字の造語力 複数の意見を読んで考える 多角的に分析して批評文を書く 文法2 「初恋」 「君待つと」 「夏草」 ◎書き初め	作者のものの見方や考え方が表されている語句の効果的な使い方を捉える 登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 社説を読み比べ、論理の展開を捉え、構成や表現の仕方について評価する。 幅広い漢字の使い方について知り、語彙を豊かにする。 漢字の造語力を知り、語彙を豊かにする 自分の意見を述べ、他にどんな立場が考えられるかを考える。 選んだ題材を多角的に分析し、自分の考えと結びつく例を示し、まとめる。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。 詩の朗読を通して、言葉の響きやリズムを捉えて詩に親しむことができる。 和歌の朗読や読解を通して、比喩的な効果を理解しながら、和歌に対する古人の思いを捉える。 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 字形を整え、バランスを考えながら書くことができる。
1 2 3	20	◎書き初め・硬筆 問題演習・課題作文 「アラスカとの出会い」 「誰かの代わりに」 「暖かいスープ」 「わたしを束ねないで」 「三年間の歩みを振り返ろう」	字形を整えて書く。 基礎、応用の問題演習。 目的に応じた的確に文を書く。 読書活動を通して、世界の人々や社会の在り方について考えを深める。 さまざまな文章を読み、人物の考え方や生き方について、自分の考えをもつ。